

平成27年度事業報告  
(平成27年4月～平成28年3月)

I 研究事業

A. 研究事業

a-1. 企画研究

以下3件の企画研究の実施を決定し、研究費を支給した。

テーマ	担当	研究費支給額
『戦後日本における中国の食文化に関する知識の普及と啓蒙—湯島聖堂・原三七と冊子「中国菜」』 (共同研究者：中山時子氏、木村春子氏)	重森 貝崙	640,000 円
菊地三郎翁研究	堀中 浩 木村実季	58,916 円
稲作文化の比較研究—中国・台湾・沖縄・日本	欠端 實 冬月 律 李 静	640,000 円

a-2. 個別研究

今期は以下4件の個別研究に対して研究費を支給した。

テーマ	担当	研究費支給額
現代中国の政治と経済	堀中 浩	27,324 円
知られざる郭沫若の諸事について	齊藤孝治	270,000 円
内蒙古における近代学堂の創設と留学事業	横田 素子	270,000 円
雲南省における神話研究	百田 弥栄子	270,000 円

B. 研究会、講演会等の開催

公開講座・上映会の開催

内 容：映像『湯島聖堂・原三七と冊子「中国菜」』

—戦後日本における中国食文化の普及・啓蒙をめざして— 34分

映像『姑蘇繁華圖』 -18世紀蘇州の光と影- 44分

お話 「中国文化の理解は食文化から」 重森貝崙（文化記録映画監督）

日 時：2016年3月25日（金）18:00～20:00

会 場：三鷹ネットワーク大学 A・B教室

参加者：30名

C. 所報、その他出版物の刊行

c-1. 紀要『中日文化研究所論文集第3号』を刊行した。

掲載原稿のタイトルは以下の通り。

崇正学堂創設を発端とした内蒙古喀喇沁右旗の兵制と兵力

横田素子

中国にみる三輪山神話の系譜 —<苧環の糸>の風景—	百田弥栄子
女性原理に基づく再生・循環・いのちの文化（下）	李 静
稲魂文化の宗教性	欠端 實
知られざる郭沫若の諸事について（2）	齊藤孝治
湯島聖堂・原 三七と冊子「中国菜」	重森貝崙
「社会主義市場経済」考（8）	堀中 浩
菊地三郎翁の「著作目録」について	堀中 浩・木村実季
編集後記	

c-2. 所報『中日文化研究第3号』を刊行した。

掲載原稿のタイトルは以下の通り。

『[あまカラ]と[中国菜]—戦後日本における食文化冊子の東西比較』

その① [あまカラ]の代表的寄稿者 小島政二郎と邱永漢を中心に 重森貝崙

孫文の「大アジア主義」講演をめぐる解釈論について

木村実季

インタビュー「私と中国」その②—甘肅省・天水にて—

訊く人・重森貝崙

話す人・横山 寛

稲作文化でつながる中国と日本（上）—石垣島の豊年祭を手がかりに—

冬月 律

海のシルクロードの東の到達地長崎と鄭成功一族について

齊藤孝治

編集後記

c-3. 中国文化叢書第2号の刊行を企画したが発刊には至らなかった。

c-4. DVD映像資料を制作し、図書館を含む教育機関等に販売した。

制作作品：中国絵巻物シリーズ『姑蘇繁華圖』および『清明上河圖』

中国の食文化シリーズ『乾貨の食文化』および『桑基魚塘』

販売委託先：岩波映像株式会社

D. その他

当法人の刊行物（『中日文化研究』および『中日文化研究所論文集』）にISSN（国際標準逐次刊行物番号）を申請し、以下の通り刊行物番号を取得した。

『中日文化研究』ISSN 2423-9844

『中日文化研究所論文集』ISSN 2423-9852

（注）『中日文化研究所論文集』については、旧法人（社団法人中日文化研究所）で発行していた『中日文化研究所所報』の誌名が変更されたものとして登録申請を行った。

## II その他の事業

① 茨城県美浦村に所有する不動産の賃貸

公益財団法人アジア・アフリカ文化財団に対して賃貸した。

以上